作成日： 2017 年 10 月 16 日
改訂日(V.2)： 2026 年 3 月 30 日

# 安全データシート

## 1. 化学品及び会社情報

化学品の名称： **日農バサグラン液剤（ナトリウム塩）**

会社名： 日本農薬株式会社
住　所： 〒104-8386 東京都中央区京橋 1 丁目 19 番 8 号 京橋ＯＭビル
担当部門： 環境安全・品質保証部
TEL. 050-3490-3494
e-mail: kankyouanzen@nichino.co.jp
緊急連絡電話番号：(平日) 050-3490-3494（環境安全・品質保証部）
(休日、夜間) 04-2929-8961（ＡＬＳＯＫ）

推奨用途及び使用上の制限：農薬(除草剤)、農薬登録の範囲外の使用は不可
ＳＤＳ番号： ５２６－６８(Ｍ１７－３５)

## 2. 危険有害性の要約

### GHS 分類

健康に対する有害性
眼に対する重篤な損傷性／眼刺激性 ： 区分２Ａ

環境に対する有害性
水生環境有害性　短期（急性） ： 区分３
水生環境有害性　長期（慢性） ： 区分３

上記で記載がない危険有害性は、「区分に該当しない」か「分類できない」。

### GHSラベル要素

絵表示又はシンボル ：



注意喚起語 ： 警告

危険有害性情報 ： H319 強い眼刺激。
H402 水生生物に有害。
H412 長期継続的影響によって水生生物に有害。

注意書き
安全対策 ： P273 環境への放出を避けること。
P264 取り扱い後は、顔、手、および露出した皮膚をすべてよく洗うこと。
P280 保護手袋／保護衣／保護眼鏡／保護面を着用すること。

応急措置 ： P305 + P351 + P338 +P337 + P313 眼に入った場合：水で数分間注意深く洗うこと。次にコンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。眼の刺激が続く場合は、医師の診察/手当てを受けること。

保管 ： 該当しない。

廃棄 ： P501 国および地方自治体（都道府県市町村）の規則に従って、内容物／容器を適切に廃棄すること。

## 3. 組成及び成分情報

化学物質・混合物の区別 ： 混合物

| 化学名または一般名 | 濃度 (%) | CAS番号 | 化審法番号 | 安衛法番号 |
|---|---|---|---|---|
| 3-ｲｿﾌﾟﾛﾋﾟﾙ-2,1,3-ﾍﾞﾝｿﾞﾁｱｼﾞｱｼﾞﾉﾝ-(4)-2,2-ｼﾞｵｷｼﾄﾞ=ﾅﾄﾘｳﾑ塩（一般名：ﾍﾞﾝﾀｿﾞﾝ） | 40.0 | 50723-80-3 | 該当しない | 8-(7)-863 |
| 水 等 | 60.0 | 非開示 | 非開示 | 非開示 |

## 4. 応急措置

吸入した場合 ： 空気の新鮮な場所に移し、呼吸しやすい姿勢で休息させること。
呼吸が困難な時には、酸素吸入を行う。
呼吸が停止した場合には、人工呼吸を施す。
口対口法を用いてはならない。
鼻、口、喉を水でゆすぐ。
体を毛布などで覆い、保温する。
直ちに医師の診察／手当てを受けること。
もし嘔吐が起こったら、胃からの嘔吐物が肺に入らないよう頭部を下げる。
物質へのばく露の影響が遅れて出てくることがある。
経過観察をする必要がある。

皮膚に付着した場合 ： 直ちに汚染された服と靴を取り除く/脱ぐ。
多量の水で洗うこと。
皮膚刺激または発しん（疹）が生じた場合：医師の診察／手当てを受けること。

眼に入った場合 ： 眼を擦ってはならない。
まぶたを開いた状態に保つ。
できるだけ早く水で洗い始め、数分間注意深く洗う。
コンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。
直ちに医師の診察／手当てを受けること。

飲み込んだ場合 ： 口を水で十分にゆすぎ、意識を失っていない場合は多量の牛乳または水を飲ませる。
意識がない場合、口から絶対に何も与えないこと。
空気の新鮮な場所に移し、呼吸しやすい姿勢で休息させること。
体を毛布などで覆い、保温する。
直ちに医師の診察／手当てを受けること。
もし嘔吐が起こったら、胃からの嘔吐物が肺に入らないよう頭部を下げる。
呼吸が困難な時には、酸素吸入を行う。
呼吸が停止した場合には、人工呼吸を施す。
口対口法を用いてはならない。
物質へのばく露の影響が遅れて出てくることがある。
経過観察をする必要がある。

応急措置をする者の保護 ： 救助の際は保護具を着用する。（「８．ばく露防止及び保護措置」を参照）。

## 5. 火災時の措置

適切な消火剤 ： 粉末消火剤、泡消火剤、乾燥砂

使ってはならない消火剤 ： 棒状水

特有の危険有害性 ： 混触危険物質（「10. 安定性及び反応性」参照）に留意して、適切な冷却手段にて容器を冷却する。
燃焼ガスおよび／または分解ガスには、刺激性、腐食性および／または毒性のガスが含まれるおそれがある。
火災の際は有害なガス（「10. 安定性及び反応性」参照）や金属酸化物などのヒュームが発生し、めまいや窒息や健康被害を引き起こすおそれがある。
消火水中に有害物が含まれ、環境や生物に影響を与えることがある。

特有の消火方法 ： 危険でなければ漏れを止める。
火災がとめられない場合は、火災の拡大、類焼を防止するために噴霧散水により冷却しながら燃焼させたままにする。
風上から作業する。
安全な場所から消火する。
関係者以外の立ち入りを禁止する。
大規模火災で大量にある場合：区域より退避させ、十分に離れた距離から消火すること。
周辺の他の未燃可燃物の防護：可能かつ安全ならば、容器を移動させるか、散水などで冷却する。
外部火災からの製品防護：可能かつ必要がある場合は、製品の入った容器を安全な場所に移動させ、容器または周辺設備を水等で冷却する。
消火剤で表面を覆い窒息消火する。
消火に用いた水は堰を作って囲い、環境に配慮した上で廃棄する。物質がちらばらないようにする。

消火を行う者の保護 ： 各国、地域で規定された標準の全身保護衣および空気式呼吸器(SCBA)を着用する。
防護面、ヘルメット、手袋を含む耐炎性防火服を着用する。

## 6. 漏出時の措置

人体に対する注意事項、保護具及び緊急時措置 ： 人体に対する注意事項
適切な保護具（「８．ばく露防止及び保護措置」参照）を着用して、飛沫等の眼または皮膚への付着や、ミストまたは蒸気の吸入をしないようにする。
緊急処置
風上の人を退避させ、風上から作業する。
関係者以外の立ち入りを禁止する。
周辺環境に、影響（健康被害を含む）を及ぼす恐れがある場合は、周辺の居住者に警告する。
付近の着火源となるものを、直ちに取り除く。
大きな安全地帯を設定する。
大量漏出の場合、蒸気を抑えるために泡を使用する。
大量の場合、噴霧散水は蒸気濃度低減に有効なことがある。
二次災害の防止策

全ての着火源（熱／火花／裸火／高温表面／静電気放電、等）を取り除く。
適切な消火剤を準備する（「５．火災時の措置」を参照）。
排水溝、下水溝、地下室、くぼ地あるいは閉鎖場所への流入を防ぐ。

環境に対する注意事項 : 環境中に放出しないこと。
漏出物が水系（河川や下水など）に流入して環境への影響を起こさないように、堤を作って堰止める。

封じ込め及び浄化の方法及び機材 : 速やかに回収する。
危険でなければ漏れを止める。
広がらないように堰を作り、後で廃棄する。
残留液を乾燥した土、砂や不燃材料で吸収させ、安全な場所に移す。
全量を回収する。
防爆型の【電気機器／換気装置／照明機器／機器】を使用すること。
全ての着火源（熱／火花／裸火／高温表面／静電気放電、等）を取り除く。
漏洩または漏出物を回収する場合は、専門家のアドバイスを求める。
残留分を注意深く集め、安全な場所に移す。
回収作業は、安全取扱い（「７．取扱い及び保管上の注意」参照）措置をしたうえで実施すること。
廃棄方法は「１３．廃棄上の注意」を参照。

## 7. 取扱い及び保管上の注意

### 取扱い

技術的対策 : 全ての着火源を取り除く。
静電気対策（アースやボンディング、帯電防止作業靴と作業服の着用、アースされた導電性床の採用、等）を講じる。
防爆型の【電気機器／換気装置／照明機器／機器】を使用すること。
水との発生を防止する。
漏洩ばく露に備えて、風上から作業する。
屋外又は換気の良い場所でだけ使用すること。
この製品を使用するときに、飲食又は喫煙をしないこと。
設備対策を行い、保護具を着用する（「８．ばく露防止及び保護措置」参照）
ミスト／蒸気を吸入しないこと。
眼や口に入れない、また皮膚に付けない。
眼、皮膚、衣服への接触を避ける。
休憩場所には、汚染された保護具を持ち込まないこと。
眼、皮膚、衣服への接触を避ける。
休憩場所には、汚染された保護具を持ち込まないこと。
皮膚、粘膜に触れたり、眼に入らない様に適切な保護具を着用する。
可能な限り、使い捨ての保護衣を着用する。
汚染された作業衣は、適切な方法で廃棄または洗浄・再利用すること。
汚染された保護衣は安全な方法で廃棄すること。

局所排気、全体換気 : 局所排気および／または全体換気を行う。

安全取扱注意事項 : 混触危険物質（「１０．安定性及び反応性」参照）から離しておく。

衛生対策 : 使用前に取扱説明書を入手すること。
全ての安全注意を読み理解するまで取り扱わないこと。
密閉系で取り扱えない場合は、屋外または換気の良い場所でのみ使用すること。
本製品を吸入してはならない。
ヒトへのあらゆるばく露を避けること。
皮膚および眼との接触を避けること。
眼や口に入れない、また皮膚に付けない。
汚染された作業衣は、適切な方法で廃棄または洗浄・再利用すること。
汚染された保護具、作業衣等を処分する際は、周辺環境を汚染することがないように適切な方法を用いること。
取り扱い後は、顔、手、および露出した皮膚をすべてよく洗うこと。

**保管**

安全な保管条件 : 保管場所には、必要な採光または照明および換気の設備を設ける。
静電気対策（アースやボンディング、帯電防止作業靴と作業服の着用、アースされた導電性床の採用、等）を講じる。
容器の静電気対策（アースやボンディングされた導電性床上での保管、等）を講じる。
食品、飲料水、動物の餌から離しておく。
直射日光を避ける。
冷所に保管。
換気の良い場所で保管すること。
容器を密閉しておくこと。
排水管や下水管へのアクセスのない場所で貯蔵する。
「10. 安定性及び反応性」を参照）

安全な容器包装材料 : 情報なし

## 8. ばく露防止及び保護措置

**作業環境における成分別ばく露限界/許容濃度**

許容濃度が設定されている物質を含有していない。

**設備対策** : 吸収装置を備えた局所排気装置および／または全体換気装置を使用する。
取扱場所に、手洗い設備や手や洗身洗眼設備を設ける。

**保護具**

呼吸用保護具 : 呼吸用保護具は、適切な保護具を使用する。
緊急時および漏出時の措置では、空気呼吸器あるいは循環式酸素呼吸器(SCBA)を着用する。
防毒マスク

手の保護具 : 手の保護具は、適切な保護具を使用すること。
不浸透性保護手袋

眼の保護具 : 眼の保護具は、適切な保護具を使用すること。
安全ゴーグルまたは保護眼鏡と防災面。

皮膚及び身体の保護具 ： 個人用保護具(PPE)は、適切な保護具を使用すること。
帽子、靴、合羽等を含む適切な不浸透性保護衣を着用する。

## 9. 物理的及び化学的性質

| | | |
|---|---|---|
| 外観 | ： | 液体 |
| 色 | ： | 赤色澄明 |
| 臭い | ： | データなし |
| 融点／凝固点 | ： | データなし |
| 沸点又は初留点及び沸騰範囲 | ： | データなし |
| 爆発下限及び爆発上限界／可燃限界 | | |
| 爆発範囲の上限／可燃上限値 | ： | データなし |
| 爆発範囲の下限／可燃下限値 | ： | データなし |
| 引火点 | ： | 引火しない |
| 分解温度 | ： | データなし |
| pH | ： | 6.0 - 9.0 (20℃、20%水懸濁液) |
| 蒸発速度 | ： | データなし |
| 自然発火温度 | ： | データなし |
| 粘度 | | |
| 動粘度（動粘性率） | ： | データなし |
| 溶解度 | | |
| 水溶性 | ： | データなし |
| 溶媒に対する溶解性 | ： | データなし |
| n-オクタノール／水分配係数（log値） | ： | データなし |
| 蒸気圧 | ： | データなし |
| 密度及び／又は相対密度 | | |
| 比重 | ： | 1.16 - 1.19 |
| 密度 | ： | データなし |
| 相対ガス密度 | ： | データなし |
| 粒子特性 | | |
| 粒子サイズ | ： | データなし |

## 10. 安定性及び反応性

化学的安定性 ： 通常状態で安定。

危険有害反応可能性 ： 火災時に金属酸化物の粉じんが発生することがある。
ミストは、温度によらず空気と爆発性混合物を形成するおそれがある。
塩基、裸火、機械火花、電気火花、溶接火花、高温表面、摩擦熱、静電気放電
：火災や爆発のおそれ
加熱、機械的衝撃、酸化剤、酸
：火災、爆発、および有毒ガスの発生のおそれ

避けるべき条件 ： 裸火、機械火花、電気火花、溶接火花、加熱、高温表面、静電気放電、機械的衝撃

混触危険物質 ： 酸、塩基、酸化剤

危険有害な分解生成物 ： 一酸化炭素、二酸化炭素、炭化水素、すす、窒素酸化物、アンモニア、硫黄酸化物
金属成分を含む微粒子が発生するおそれがある。

## 11. 有害性情報

**可能性のあるばく露経路の情報** ：経口、吸入、経皮、眼

**急性毒性**

**製品：**

急性毒性（経口）： $LD_{50}$（ラット）： 2063 mg/kg
標的臓器：特定標的臓器は認められない。

急性毒性（吸入）： $LC_{50}$（ラット）： >16 mg/L
ばく露時間：４時間
標的臓器：特定標的臓器は認められない。

急性毒性（経皮）： $LD_{50}$（ラット）： >6050 mg/kg
標的臓器：特定標的臓器は認められない。

**皮膚腐食性/刺激性：**

**製品：**

種 ：ウサギ
結果 ：軽度の刺激性あり

**眼に対する重篤な損傷/眼刺激性：**

**製品：**

種 ：ウサギ
結果 ：軽度の刺激性あり

**呼吸器感作性/皮膚感作性**

**製品：**

試験タイプ ：皮膚感作性
種 ：モルモット
方法 ：マキシマイゼーション法
結果 ：感作性なし

**生殖細胞変異原性**

**製品：**

*in vitro*での遺伝毒性 ：備考：データなし
*in vivo*での遺伝毒性 ：備考：データなし

**成分：**

**ベンタゾン：**

備考 ：データなし

**発がん性:**

**製品：**

備考 データなし

**成分：**

**ベンタゾン：**

備考 ：データなし

**生殖毒性:**

**製品：**

妊娠に対する影響 ：備考：データなし
胎児の発育への影響 ：備考：データなし

**成分：**

**ベンタゾン：**

備考 ：データなし

**特定標的臓器毒性（単回ばく露）** 急性毒性（「１１.有害性情報」を参照）

**特定標的臓器毒性**
**（反復ばく露）**
**製品：**
備考 ：データなし
**成分：**
**ベンタゾン：**
備考 ：データなし
**誤えん有害性：**
**製品：** ：データなし

## 12. 環境影響情報

**生態毒性**
**製品：**
魚毒性（急性毒性） ：備考：データなし
ミジンコ等の水生無脊椎動物に対する毒性（急性毒性） ：備考：データなし
魚毒性（慢性毒性） ：備考：データなし
ミジンコ等の水生無脊椎動物に対する毒性（慢性毒性） ：備考：データなし
**成分：**
**ベンタゾン：**
魚毒性（急性毒性） ：$LC_{50}$（コイ）： ＞ 110 mg/L
ばく露時間：９６時間
ミジンコ等の水生無脊椎動物に対する毒性（急性毒性） ：$EC_{50}$（オオミジンコ）： ＞ 125 mg/L
ばく露時間：４８時間
藻類／水生生物に対する毒性 ：$EbC_{50}$（緑藻）：34.8 mg/L
ばく露時間：７２時間
魚毒性（慢性毒性） ：NOEC（ファットヘッドミノー）： ＞ 10 mg/L
ばく露時間：３５日間
ミジンコ等の水生無脊椎動物に対する毒性（慢性毒性） ：NOEC（オオミジンコ）： ＞ 101 mg/L
ばく露時間：２１日間

**残留性・分解性:**
生分解性 ：備考：データなし
**生体蓄積性:**
生体蓄積性 ：備考：データなし
**土壌中の移動性:** データなし
**オゾン層への有害性:**
オゾン層破壊係数 ：国際規制：UNEP - オゾン層を破壊する物質に関するモントリオール議定書のためのハンドブック
備考：リストに掲載なし
**他の有害影響:** ：データなし

## 13. 廃棄上の注意

**廃棄方法** 国および地方自治体（都道府県市町村）の規則に従って、内容物/容器を適切に廃棄すること。

## 14. 輸送上の注意

### 国際規制

**陸上輸送(UNRTDG)**

| | |
|---|---|
| 国連番号 | ：非該当 |
| 国連輸送名 (Proper shipping name) | ：非該当 |
| 国連分類(Class) | ：非該当 |
| 副次危険性(Subsidiary risk) | ：非該当 |
| 容器等級(Packing group) | ：非該当 |
| ラベル(Labels) | ：非該当 |

**航空輸送(IATA-DGR)**

| | |
|---|---|
| UN/ID 番号(UN/ID number) | ：非該当 |
| 国連輸送名 (Proper shipping name) | ：非該当 |
| 国連分類(Class) | ：非該当 |
| 副次危険性(Subsidiary risk) | ：非該当 |
| 容器等級(Packing group) | ：非該当 |
| ラベル(Labels) | ：非該当 |
| 梱包指示（貨物機）(Packing instruction (cargo aircraft)) | ：非該当 |
| 梱包指示（旅客機）(Packing instruction (passenger aircraft)) | ：非該当 |

**海上輸送(IMDG-Code)**

| | |
|---|---|
| 国連番号 | ：非該当 |
| 国連輸送名 | ：非該当 |
| 副次危険性 | ：非該当 |
| 容器等級 | ：非該当 |
| ラベル | ：非該当 |
| EmS コード | ：非該当 |
| 海洋汚染物質（該当・非該当） | ：非該当 |

**MARPOL 73/78 附属書 II 及び IBC コードによるばら積み輸送される液体物質（該当・非該当）**

供給された状態の製品には不適用。

### 国内規制

国の特定の法規制は、項目１５を参照する。

### 特別の安全対策

備考 ： 輸送前に容器の破損、腐食、漏れ等がないことを確認する。
転倒、落下、破損がないように積み込み、荷崩れの防止を確実に行う。
車輌、船舶には保護具(手袋、眼鏡、マスク等)を備える他、緊急時の処理に必要な消火器、工具などを備えておく。

## 15. 適用法令

### 消防法

危険物、指定可燃物に該当しない。

**労働安全衛生法**
製造等が禁止される有害物
非該当
製造の許可を受けるべき有害物
非該当
健康障害防止指針公表物質
非該当
変異原性の認められた化学物質（既存化学物質）
非該当
変異原性の認められた化学物質（新規届出化学物質）
非該当
名称等を通知すべき危険物及び有害物
非該当
名称等を表示すべき危険物及び有害物
非該当
特定化学物質障害予防規則
非該当
鉛中毒予防規則
非該当
四アルキル鉛中毒予防規則
非該当
有機溶剤中毒予防規則
非該当
労働安全衛生法施行令 - 別表第一（危険物）
非該当
**毒物及び劇物取締法**
非該当
**化学物質排出把握管理促進法**
非該当
**高圧ガス保安法**
非該当
**火薬類取締法**
非該当
**船舶安全法**
危険物として規制されていない
**航空法**
危険物として規制されていない
**海洋汚染等及び海上災害の防止に関する法律**
個品輸送：海洋汚染物質には該当しない
**廃棄物の処理及び清掃に関する法律**
産業廃棄物
**農薬取締法**
農薬

## 16. その他の情報

参考資料： 安全データシート「住化 バサグラン液剤（ナトリウム塩）」(住友化学株式会社 2022年4月19日改訂)

記載内容は、現時点で入手できる資料、情報にもとづき、当該製品の安全な取り扱い、使用、処理、保管、輸送、廃棄、漏洩時の処理等のために作成されたものですが、記載されている情報はいかなる保証をするものではなく、品質を特定するものでもありません。また、この SDS のデータはここで指定された物質についてのみのものであり、指定されていない工程での使用や、指定されていない材料と組み合わせた使用に関しては有効ではありません。